

第346回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成30年3月26日(月)午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員 7人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
山本 健一	委員	中島慎一郎	委員
大久保千春	委員	田村 明子	委員
柳川かおり	委員		

会社側出席者

取締役会長	室川 治久
代表取締役社長	務台 昭彦
常務取締役 編成担当	竹石 尚史
取締役報道制作局長	永田 広道
編成局長兼番組審議会事務局長	増子 隆
報道制作局制作部長	羽田 朗
報道制作局 合評番組プロデューサー	鈴木 英門
事務局	山崎 学 吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

「新潟×長野 一番G e t ! ケンミン生投票

信越ながら…ゴールデンやっちゃいます！！」

〔放送：平成30年3月2日（金）18:40-19:56〕

（説明：番組プロデューサー 鈴木英門）

2) 会社報告

①2月の視聴者の意見 （報告：番組審議会事務局）

②講じた措置、公表など定例報告等（報告：番組審議会事務局）

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、昨年3月にテレビ新潟とテレビ信州が合同でゴールデンの番組を制作・放送した「一番G e t !」の第2回目として、前回の反省点を活かして更にパワーアップするべく取り組み、中でもスタジオの生部分を強化した。同じ日本テレビ系列ではあるが、新潟長野日頃の番組制作へのアプローチの違いがあるので、お互い制作陣が行き来しながらひとつの番組を作った、という説明があった。

（委員の意見）

- 金曜日の午後7時台に見合った面白い番組であったと思う。
- 出演したタレント豪華だと思ったが、新潟・長野に関わる人を全編で起用しても良かったのではないか。
- データ放送での「いいね」投票のシステムで子どもも参加しながら楽しんで見ることが出来た。

- 「麩」を作る工程を紹介していたが、非常に興味深く見た。
- 楽しいエンタメ番組であった。対決という趣向もテンポよく、楽しく見る事が出来た。
- 「麩」は新潟以外ではなじみのない食材だと思うので、基本の味をまず伝えるべきではなかったか。出てきたメニューもスタジオで試食するなどの工夫があってもよかったのではないか。
- スタジオの生部分が前回より活かされていて、番組全体の面白さを上げていた。楽しい雰囲気を出しつつ情報を伝えていた諸橋アナウンサーは安心して見る事が出来た。
- 新潟と長野のお互いの良さを視聴者に伝えるという点が対決によって薄れてしまったと思う。
- ダイバーしか行かない「海中温泉」を「温泉」として扱うことに中途半端感が否めなかった。
- グルメについては扱った店が両県とも市内と周辺地域という構成となっていてバランスが良かった。
- 「海の県」と「山の県」という地域性が各テーマによく表れていて、家族全体で楽しんで見る事ができた番組であった。
- 各テーマの対決内容をもっと2局間で情報交換して、不自然さがない対決内容にするべきであったと思う。
- 3月に放送するという事であれば、この番組を見て春に新潟や長野に行ってみたくなるようなロケ地などを取り上げて良かったのではないか。
- 視聴者投票について、一人で何回も「いいね」を押せるシステムは勝敗への関心を薄めてしまったのではないか。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

2月 …… 82件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成30年2月26日)から、昨日(平成30年3月25日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第345回審議会では、「金メダルへの飛翔 平昌五輪新時代への挑戦」を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第346回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・2月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞(3/3、13号)
- ・BPO報告 NO.184

以上